

ピアノが広げる音楽ネットワーク ～ふたつのチャリティコンサート

コミュニティコアの歩み (これまでの経緯)

ベイタウン計画段階での構想 (バブル期の構想)

1995 年 幕張ベイタウン誕生 (1～6 番街入居)

1997 年 住民によるコミュニティコア研究会発足

97 年秋 コミュニティコア事業化研究会スタート

(企業庁、市役所、住民、ビジネス街ほかによる)

1998 年 事業化研究会まとめ

「早期施設として公民館、図書館、郵便局、多目的スペースを建設する」
(バブル構想崩壊、一転、最小限の施設へ)

98～99 企業庁と市役所の管理問題をめぐる折衝

q 企業庁が建築し、公民館などは店子として入居する
w 企業庁が建築し、その後の建物管理は市役所が行う
→ 1 年間の協議の末 w で決着

99 年秋 基本計画検討会スタート

(郵便局はプロムナードへ、子供レーム入居)

00 年 基本計画検討会まとめ

「施設面積 1950 平方メートル、コア運営を住民参加も含めて検討する」

3～6 月 基本設計 (施設面積 1988 平方メートル)

6 月 「備品は市役所の予算で整備するとの方針決定」

7～12 実施設計

(住民による個別委員会発足)
ホール音響選定委員会・ピアノ選定委員会

左に「コミュニティコアのこれまでの経過」を紹介しましたが、バブル崩壊後構想が縮小するなか、企業庁と住民によるコア研はベイタウンのシンボル施設ともなるコアの実現をめざしてきました。なかでもホールは、規模こそ 500 人から 200 人収容と縮小されましたが、有名ホールを手がけた音響設計事務所の起用も決まり、「小粒でもキラリと光る、音響にもこだわった多目的ホール」が現実のものとなってきました。

いっぽうで、今年の 6 月には「備品は市役所の予算で整備する」ことが決まり、コアのピアノは、公民館の講堂並みのウン十万円のアップライト、グランドピアノが入ったとしても小学校の体育館にある程度のもになりそうです。このままでは有名演奏家を呼ぶこともできず、せっかくの音響にこだわったホールも生かされないことになりかねません。

しかし、「よいピアノを」と市役所に要望するだけでなく、ピアノへの住民の気持ちをアピールする意味でも住民の力でチャリティコンサートを実現させよう！という機運が高まり、賛同する人たちが行動を始めました。そして、二人のプロ演奏家による「チャリティコンサート」(11月10日、ご厚意によりホテルフランク스가会場)と「ベイタウン合同ピアノ発表会」(12月9日、幕張総合高校文化ホール)が開催されることになりました。「ヴァイオリンの御木さんもピアノの安藤さんも、これまでの街のコンサートに快く協力していただいている演奏家です。今回初めての試みであるピアノ発表会については、参加者の募集に、最年少は3歳から、トリを務めるお医者さん、ピアノを始めて3年目という80歳の方まで、様々な方の応募がありました。このピアノのチャリティをきっかけに素晴らしい人材と出会えたことは、これからコアのホールを運営していく原動力となる音楽ネットワークづくりにも大きな収穫だったと思っています」(幕張ベイタウンチャリティコンサート実行委員会/下川正晴氏談)
※年表はネットの記事を参考に作成いたしました。【佐藤】



幕張ベイタウン 5 周年記念

「チャリティコンサート」11/10 午後 7 : 00 開場 / 会場 : ホテルフランクス

「第 1 回ベイタウン合同ピアノ発表会」12/9 正午～ / 会場 : 幕張総合高校

秋 4 題



結構知らない、気になる隣の番街・サークル

ベイタウンの広報誌

ベイタウンの中で住民の皆さんが発行している広報誌がどのくらいあるのか、各番街やサークルにアンケートをお願いしました。結果は表を御覧ください。自分たちの広報誌なのでネーミングに凝っているところも多く、由来を知るだけでも“思い入れ”が感じられて楽しいですね。



広報誌名(発行団体)	ネーミングの由来	発行号数	発行間隔	内容、その他
自治会ニュース (1番街)			3~6か月おき	
サンSUNパティオス! (3番街)	3、SUN、みんなで参加の「さん」の意味		3か月に2~3回	自治会活動報告、3番街のお店紹介など
3本のけやき (3番街管理組合)	中庭のけやきの木		適宜	広報の必要のある事柄、注意喚起など
光と風にさそわれて (4番街)	戸建て風なイメージを表わした	46号	1か月に1回	事務連絡+住民の投稿
8番街通信 (8番街)	H9 2月発行時、名称を募集	13号	年間3~5回	住民投稿、管理組合と自治会で共同発行
パティオス10番街ニュース (10番街)		17号	年3回	管理組合公報+自治会関連記事
PATIOS17番街自治会だより (仮、17番街)	仮称なので、考え中です	1号	1か月に1回	創刊なので会長挨拶、役員紹介、会則など
Patios 18 times (18番街)		6号	不定期	1~8号理事会、9号~広報委員会の発行
Central Park West News (セントラルパーク)			四半期	管理組合の報告書
ぐらんば (公園西の街)	グランパティオス、おじいちゃんの意味も	7号	約1か月	ベイタウン情報 例=公園の名前を考える
東の街航海日誌 (公園東の街)	東の街を「船」にたとえ、快適な航海(暮し)を願う	1号	3~4か月に1回	イベント予定、自治会設立準備会の発行
育成委員会だより (青少年育成委員会)		7号	約4か月おき	委員紹介、イベント報告、パトロールなど
オアシス通信 (シニアクラブ)	人生の憩いの場所という意味	2号	2か月に1回	シリーズ「シニアの意識調査」がある
ひまわりだより (ひまわり会)	ひまわり会のおたよりなので	33号	1か月に1回 (8月のみ休刊)	バスツアーや講演会の報告、小学校でのイベント報告などさまざま
グラウンドゴルフ打瀬会 (グラウンドゴルフ打瀬会)	初代会長さんが決めました	6号	1か月に1回	大会成績や連絡事項
健康ウォーク			適宜	広報紙でなく健康維持の為のアドバイスなど
打瀬中だより (打瀬中パティオスの会)	創刊当時、美術の先生が書かれた題字を生かした	5号+号外1号	1年に2回	先生の紹介、校外学習や修学旅行についてなど(今回の号外は、体育祭特集)

新しい番街やサークルの生まれたばかりの広報誌、すでに30~40号発行されているベテラン広報誌、いずれも「みんなで、より安全でよい暮しを」また「より楽しく、充実した活動を」という熱意が伝わってくるのは同じです。「広報誌ではないのですが…」と見せていただいた「健康ウォーク」は、夏ばて解消法・早食いは太るなど、健康によい話が書かれていました。「オアシス通信」も、シニアクラブで何をやりたいかという意識調査の結果や、サークル案内、文芸欄などがあり、実に読み応えがありました。

ここには紹介できませんでしたが、この他にも打瀬小学校が発行する「PICD」や本誌折り込みの「きょういくベイタウン」、自治会連合会発行の「こむこむインフォメーション」、読売エコー発行の「ベイタウンひろば」など、沢山の広報誌がベイタウンでは発行されています。また、今後発行予定の広報誌として「俺たちのベイタウン」、「ベイタウン・ストリート」という企画も着々と進んでいるようです。特集してみて、こんなにたくさんの街の広報誌、コアに置き場所を作って「いつでも誰でも」閲覧できるようにならないだろうかと思いました。

秋津コミュニティに見る開かれた小学校

五右衛門風呂と上総掘りの小学校

ベイタウンのすぐ近く、習志野市の秋津に「学校を核とした」すごい街作りを進めているコミュニティがあると聞き、早速行ってきました。

ひとことで言って、すごい。こんな近くでこんなすごいところがという感想です。秋津では、子どもたちの数が減少し、利用されなくなった小学校の空き教室を活用して、地域のサークル活動やコミュニティ事務局に開放しています。このことが地域の大人と子どもたちの間を非常に近づけており、子どもたちが授業している時に、となりの教室では地域劇団のサークルが準備をしているといったことが日常的に行われており、休み時間に子どもたちがサークルに「こんにちわ」と顔を出して、そこにいた大人たちに、今授業で習ったばかりの募金活動を突然行うと言うことがごく自然に行われています。近くに公民館もあるのですが、そちらの活動も巻き込んだコミュニティ活動のひろがりを持っていました。

学校の授業でも毎月2回、打瀬少の地域交流特別クラブのような時間があり、地域から大人が参加して授業を行います。講師として地域の方が何人くらいいるのですか？という質問を教頭先生にしたところ、「講師？」という顔をされてしまいました。参加する地域の方は講師や先生ではなく、協力者という特別な意識もないそうです。そういう称号や役割で関わるのではなく、子供たちと対等の関係でクラブを作り上げるという意味のことを言っていました。小学校の先生方が「講師」の方々にご

協力ありがとうございました、と言う言葉を発することもないので、そういうことを言うと、「私たちは協力しているのではありません。」というクレーム(?)が来ると言って苦笑していました。実際、小学校が地域に対して協力を求めているという感じは全くなく、実に自然な信頼関係が地域と学校との間にできているという印象でした。

学校の敷地内にあるコミュニティルームの入り口横の物置には、建設用の廃材が山のように積んでありました。その横にはドラム缶でできた五右衛門風呂(もちろん実際に火を炊いて入ります)があり、その横にはこの夏休みに掘った上総掘りの井戸があり、さらにその横には手作りのピオトープがあり、今日も子供たちが泥だらけになって遊んでいました。【松村】



幕張新都心トライアスロン大会

～今年は中学生ボランティアも参加

10月9日体育の日、あいにくの雨模様の中「2000年幕張新都心トライアスロン大会」が開かれました。シドニーオリンピックの正式種目にもなったトライアスロンは、アメリカ海兵隊の兵士が体力を競う為に行っていたものが競技として定着したもので、別名「鉄人レース」とも呼ばれる過酷な競技です。

今回は幕張の浜沖でのスイム1.5kmに海浜大通り海側車線を使ったバイク40kmと、ベイタウン内もコースの一部となり、マリスタジアムをゴールとするラン10kmを競技コースとして、650人の選手が参加しタイムが争われました。コース設定は大会



によって特性はありますが、今回はシドニーオリンピックの時と同じ標準的なものです。

幕張新都心でのトライアスロン大会は眺めが良いので参加選手には好評だということですが、コース全体がきれいに整備されて走りやすく、高低差がないので入門レース的な位置付けとなるようです。バイクは8kmのコースを5周回ることになるのですが、道路の片側車線だけで行なわれるのですれ違いが多く危険なため、ベテラン選手はいやがるコースのようです。

エイドステーション(水分補給所)をのぞき、どんな飲み物があるのか見たら水とスポーツドリンクだけの極めてシンプルな内容、当日は雨模様なので欲しがる選手が少ないかと思いましたが、意外と手に取っていました。水分補給は脱水症状を避けるため必要なのですが、なにぶん走りながら飲むことになり、慣れないと腹痛を起こすので、水を飲むのも事前の練習が必要だそうです。

ベイタウン内はランの折り返し地点になっているのでボランティアが走ってくるランナーの腕にマジックで印を付けますが、タイミングが合わないと一緒に走る羽目になり、担当の女子高生は結構疲れた様子でした。ベイタウンからのボランティアはエイドステーションに22人、ランコース整理には36名のボランティアが早朝6時30分のミーティングから参加し、会場設定や後片付けなど雨の中活躍していました。

今回の大会でも数日前から張り紙などでコース上に駐車しないよう、事前に広報が行なわれていましたが、案の定数台の車が当日の朝も駐車しており警察のレッカー車のお世話に・・・、これってどうにかならないものではないでしょうか？ 【金】

子供たちの非行に注意！

近年、非行・犯罪の若年齢化が進んでいます。薬物飲用も例外でなく、小中学生にまで及んでいると言います。このベイトウンでも、ここ数ヶ月のうちに、飲用跡が数件発見されており、他人事とは言えなくなってきています。子供たちの非行防止には、街の大人たちの目が光っていることが有効です。万が一そのような現場を発見したときは、決して自分だけで解決しようとせず、110番またはメッセ交番まで通報して下さい。

メッセ交番 TEL:043-296-0605

ベイトウンにCAPを紹介したい！！

■CAPって？ - (Child Assault Prevention) 1978年にアメリカで始められた子どもたちの人権意識を育てることによって、心を傷つける暴力、体を傷つける暴力、性的な暴力から自ら守る方法を教えるプログラムです。

(詳しくはHPを。http://www.jcap.org)

■CAP おとなのためのワークショップ

日時：12月5日(火曜日) 午前10時～正午

場所：13番街集会室

申し込み・連絡先："打瀬にCAPを呼ぼう会"

T&F 工藤 213 - 0705 ・ 山口 274 - 5017

都心居住・職住近接を実現する市街地整備

リバーシティ 21 (東京都中央区)

東京都マイタウン構想のひとつである「リバーシティ 21」は、21世紀に向けた高感度な都心居住の拠点として、隅田川のウォーターフロント、東京都中央区佃に誕生しました。

現在では、緩傾斜堤防(洪水から街を守るため、従来のコンクリート塀型堤防を撤去し、盛土により地盤を上げてその上に建物を建て、水際は公園のように整備されたテラス型の親水性の高い堤防)、公園、街路、橋梁等の整備がなされ、住環境が大きく向上し、大量の都市型住宅の供給により定住人口が回復するなど、都心居住・職住近接のモデルとして高く評価されています。

この事業は、民間事業者、東京都、東京都住宅供給公社、中央区、公団がそれぞれの役割分担のもとに整備を進めてきました。

なかでも公団は、構想段階から東京都や中央区と調整を図り、開発協議会の幹事役として事業推進の一翼を担ってきました。



賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所
TEL: 047-478-3711
公団住宅の駐車場のお問い合わせは
日本総合住生活(株)千葉支店

都市公団

幕張ベイトウン・イベントカレンダー (11～12月)

- 11/10 (金) 幕張ベイトウン5周年チャリティコンサート
チャリティコンサート実行委員会 TEL:211-0472
- 11/11 (土) 打瀬中学校文化祭
打瀬中学校 TEL:211-0344
- 11/11 (土) 神田外語大学 パンフルートコンサート
神田外語大学 TEL:273-2826
- 11/11 (土)、11/25 (土)、12/9 (土) カミネッコン工作の日
幕張ベイトウンにエコパークをつくる会 TEL:211-7736
- 11/25 (土) 打瀬小学校フレンドフェスタ
打瀬小学校 TEL:211-0321
- 12/2 (金) 子育て講演会
打瀬中学校パティオスの会 TEL:211-6472

この欄では最近に行われるベイトウン関連のイベント情報をお伝えします。紙面の関係で詳細をお伝えできませんが、詳しくは各番街掲示板等でご確認ください。また、この欄に掲載を希望するイベント情報を直接編集部宛お知らせいただければ幸いです。

編集後記

■打瀬小学校が全住民に呼びかけて開かれた「地域交流特別クラブ」に関する話し合いに参加しました。このクラブは土曜日に開催されており、小学校が土曜日となる2002年度以降の対応を探るための話し合いでした。「地域交流特別クラブ」は「打瀬学習」にも関係する大切な時間なので、その存続に関する住民の関心は高く、熱気あふれる話し合いが行なわれましたが、特に打瀬小学校の教科主任である三浦先生の熱意あふれる説明には皆納得。今後の子供たちの未来のためには、こういう熱心な先生達と私たち父兄や地域住民が一緒になって打瀬の教育を考えていく必要があると痛感しました。

企画：#3 - 220 金一剛 (T:211 - 0388/ikkim@xa2.so - net.ne.jp)

■先日新聞でも紹介されていたのでご存知の方も多いと思いますが、私の住む名古屋では、ゴミの分別収集が徹底されています。可燃ゴミ、不燃ゴミ、空きビン、空き缶(スプレー缶は別!)、プラスチック容器包装、紙製容器包装、ペットボトル、紙パック、粗大ゴミ、資源ゴミ(新聞、雑誌、段ボール、衣類)と、とても覚えきれないぐらい複雑です。しかも、いつでも出せる訳でなく、収集時間は限られていますので、正直言って一人暮らしには負担です。なるべくゴミを出さないよう(?)、せっせと外食している今日この頃です。

編集：名古屋より、板東司 (tbando@dp.u-netsurf.ne.jp)

■今月の広報誌特集では、たくさんの方々にご協力いただきました。突然アンケートをお願いしたのに、最終的に全員がご回答くださり、見本の広報誌を届けていただいたり、FAXで送っていただいたり…。(感謝!!)そして今、各番街やサークルの情報の詰まった広報誌が、目の前にあります!! 結構知らない、他の番街・サークルの広報誌、その魅力を少しでも味わっていただけましたでしょうか。

記者：# 公園東 浜田貴代子 (atmark@pop01.odn.ne.jp)

■最近、仕事で「職住近接」を実践している男性たちに話をうかがう機会がありました。無農薬野菜の店を経営する人やリニューアルできるパソコンを製造販売している人など、地域で働くことで家族と過ごす時間も増え、自然と知り合いができボランティア活動などもするようになったそうです。「儲からないね」と口では言いながら、皆さん表情が生き生きとして目が笑っています。まわりに単身赴任や過労気味の人が増える今日この頃、どんな「働き方」が幸せなのか…考えさせられます。

タウンスケッチ記者：# 3 - 310 佐藤則子 (T&F211 - 0090)

■只今休業中です。

記者：#7-301 茂木俊輔 (T&F211 - 1066/m38032@pp.ij4u.or.jp)

■先月号のWho's Whoで打瀬中学校パティオスの会の土堤内さんにインタビューさせていただいたことが縁で、パティオスの会の皆さんと接点ができるようになりました。色々な企画と一緒に進めていくうちに、沢山のすばらしい方々と理解を深めることができる。改めてベイトウンニュースを続けていてよかったと感じます。

技術：#10-612 松村守康 (T&F:211 - 6853/m - matz@mxq.mesh.ne.jp)

WHO'S WHO 第10回 重松 政人さん (5番街在住)

ベイタウンにはサルスベリの木が一本ある。他の街路樹とは違った感じの木なのでご存じの人も多いと思うが、3番街のプロムナード沿いに植えられている木である。この木が最近少し元気がない。毎年咲く花の数も気のせいかわ減っているようだ。

このことを教えてくれたのは5番街に住む重松さんである。重松さんはこのサルスベリの木に限らず、ベイタウンの街を平成7年の街開きから写真に記録し続けている。ベイタウンの街に初めて雪が降り、近代的な街並みを白一色にした写真。最初のベイタウンまつりのプロムナードの賑わい（このときの祭は住民主導ではなかったので、第1回ベイタウンまつりとは呼ばれていない）、そして今は消えてしまった広大なベイタウンの原野を撮った写真もある。

重松さんが写真を撮り始めたのは、この街に越してきてからである、それまでは写真が特に趣味という程ではなかったようだ。しかし、この街に住み初めて間もないある日、たまたま散歩に行った幕張の浜から見た夕日の美しさに魅せられ、それ以来、自動車リース関連のお勤めの傍ら、休日には愛用のカメラを持って街を歩き、開発とともに変わり行くベイタウンの風景を記録しつづけている。

今まで撮った中で一番印象に残る写真は、富士見通りに沈む夕日を5番街前の歩道から撮った写真。この地点から夕日を撮る人は多いが、夕日が富士見通りに落ち、ベイタウンの街並みを赤く染めるのは

一年の中に数日しかなく、しかも絵になる写真が撮れるのはそのうちでもごく数分だそうである。この写真は昨年10/24からかかるが館で開かれた「第一回ベイタウン写真展」のポスターにも使われたので、見られた方も多いと思われる。

重松さんのベイタウンを記録した貴重な写真は、ベイタウンを扱ったTV番組や新聞でも使われており、「幕張ベイタウン物語」のカラーページでも何点か紹介されている。

今回の撮影ポイントは、こちらからお願いして、冒頭で紹介したサルスベリの木の前で立ってもらった。

【松村】



番街紹介 第9回 パティオス3番街

パティオス3番街は、パティオス1番街～6番街とともに、ベイタウンでは最も古い街区です。パティオスは3つのエリアに区切られ、それぞれアクアスクエア（池）、コミュニケーションスクエア（集会所）、グリーンスクエア（中庭）となっており、グリーンスクエアには、芝生の丘に3番街のシンボルツリーであるけやきが3本植えられています。初夏の夕べ、



デッキから眺めると心が休まります。

1997年2月に発足したパティオス3番街自治組織は、今年度で4期目に入ります。毎年7月には「夏祭り」、12月には「クリスマスパーティー」を開催し、居住者間コミュニケーションの一助としています。今年の夏祭りは、計画書に基づき着々と準備を進め「よ～し、開会だ!」と張り切っていたところ、「スイカ

割りのスイカがない!」「ヤキソバの麺を買うのを忘れた!」ということに気づき、顔色を変えて買いに走るという楽しいハプニングもありました。

一方、ややもすると避けて通りたい問題に挑戦する強い一面が3番街にはあります。た

例えば：

- 自治組織消滅の危機を乗り越えたこと。
- 『いつまでも管理組合から活動費の面倒を見てもらうのは情けない』ということで、補助金方式を取りやめ居住者からの拠出金（会費）方式に改めたこと。
- 『青空駐車・迷惑駐車を3番街から無くし、ライフ・マナーの良い3番街にしよう』とマナーの悪い駐車に目を光らせていること。
- 海浜幕張駅前のみっともない迷惑駐輪の排除活動・・・などなど

そして現在は、「自治会連合会への拠出金をどうするか」という問題に取り組んでいます。こういった衝突・摩擦・葛藤の生じやすい事柄に、真正面から当たれるのは、3番街の居住者の理解と、自治組織委員やサポーターの積極的な行動によって初めて実現できることであると実感しています。

「日ごろは楽しくて物静かだが、何か事が起こるとワッと集まって解決する」これが3番街の最大の特色です。

【荒木裕治 (3番街在住)】

「課題解決学習」の発表を終えて

打瀬中学校長 石原 通男

めっきりと秋も深まってまいりました。

紅葉前線も、日本列島を北から南へと、そして山の頂から麓へと足早に駆け下り、あちこちの名所からは紅葉狩りの便りが聞かれます。

10月21日（土）に、本校では、本年度第2回目の授業参観を行いました。授業参観というと、通常、学級を単位として、国語、社会、英語といった教科あるいは道徳、特別活動の授業が展開されることが多いと思います。

しかしながら、今回は一学期に取り組んだ『総合的な学習の時間』の一つであるスクランブル型課題解決学習の発表場面を保護者の皆様にご覧いただきました。

『総合的な学習の時間』のことにつきましては、これまでに何度かこの誌面をお借りし説明してまいりました（教育ペイタウン第13、16号参照）。

生徒一人ひとりが身の回りの生活や学習の中から、興味・関心に基づいて課題を設定し、その課題解決をめざして探求的に取り組んできた”学び”の成果を発表するというものでありました。1・2年生全員が屋台村方式で個人発表を行い、3年生と保護者の皆様には、聞き手役のお客さんになっていただきました。

生徒個々の課題設定の仕方、解決のための情報収集・処理の方法、発表時の声の大きさや資料の工夫、それぞれの場面における教師の支援のあり方など、指導上での改善の余地が沢山あることが浮き彫りにされました。今後、あくまでも生徒一人ひとりの”学び”を大切に『総合的な学習の時間』のあり方について、我々の指導法改善を追究してまいりたいと思っております。

今夏の授業参観では、3年生は発表をいたしませんでしたが、11月11日（土）の文化祭当日には3年生全員が発表をいたします。保護者ならびに地域の皆様、どうぞ本年度も文化祭にぜひお越しください。そして、生徒の”学び”の輪の中加わり積極的にご指導ください。ご来校をお待ち申し上げます。

発表後の閉会式では3年生の柴崎洋平君が「・・・クイズ形式にしたり、歌を歌ってみたりして一人一人が大変工夫しており自分の個性がとて出ていて素晴らしい発表でした。・・・僕等も負けないよう頑張るって発表したいと思えます。」と感想を述べ、続いて家口美央さんは「・・・1年生の渡辺さんは色をいろいろな視点から追求しきれいにまとめていました。それから2年生の金城裕也君は打瀬に住む私たちにとって身近な海の塩について実物を持って発表していました。総合学習は初めての学習なので戸惑うことも多くあったと思いますがどの発表もとても充実していました。発表を聞いて総合学習の1ページ目の締めくくり

としてふさわしいものを文化祭に向けて発表できる様に準備を進めていますので期待してください。」という感想を述べて会を締めくくりました。発表を無事終えた1年生の山崎摩耶さんは「私は『雲』のことについて発表しました。・・・発表が近づくにつれて心臓が「ドキドキ」して緊張のせいでお腹も痛くなってきました。・・・発表する番がくるとお客さんが来るか心配でした。女の子二人が私の発表を見に来てくれた時はとってもうれしかったです。あとから先生たちも私の発表を見に来てくれました。・・・見せ所の実験を最後の終わる時になって一瞬だけしか見せることができなくてとても「ショック」でした。でも自分では



「まあまあできたかな」という感じです。またこんな機会があったら頑張りたいと思います。今度はたくさんのお客さんがくると嬉しいです。」また、菅沼克俊君は「初めてのせいかテーマを決めるのに時間がかかってしまいました。今日の発表では緊張してあまり大きな声が出せず、ま

た、説明だけの7分間になってしまいました。2年生の吉川先輩や同学年の市原君は大きな声で見に来てくれた人と接していて、とても僕の勉強になりました。今回の悪いところを直して来年は先輩たちのように堂々と発表できるようにしたいです。」と感想を寄せてくれました。

@Space

千葉市英語発表会

9月29日(金)に千葉市英語発表会が千葉市教育会館で行われ、本校からは4名の生徒が参加しました。夏休みの間に題材を選び練習を重ねて、2学期からはほとんど毎日練習を行いました。その結果、2名の生徒が入賞しました。

エキジビションの部 1位 大島茉莉奈さん
2年 暗誦の部 2位 越 恵子さん

今年もレベルの高い演技が見られました。チャンスは打瀬中の生徒全員にあります。英語の授業では素直に自分自身を表現して演じていきましょう。毎日の積み重ねが大切なのです。【英語科担当：山田】

陸上競技部

千葉県中学校新人陸上競技会 天台スポーツセンター
佐藤遼太君 800 M 2' 09" 54
武 千春さん 走り高跳び 1 M 3 5

100分の2秒で8位入賞を逃してしまった。！選手・顧問ともに悔しい思いをしました。この悔しさをバネにこの冬走りまわります。1年生ながら県大会に出場しベスト8まであと1歩と迫った武さんの健闘も立派です。【顧問：渡邊 談】

水泳部

千葉県中学校新人水泳競技大会 千葉国際総合水泳場
出場選手それぞれが自己ベスト記録更新を目指して参加しました。

特に200Mリレーでは女子は9位。男子はあと0.4秒で入賞できた記録で11位でした。

1月に千葉市の新人戦がありますが、それに向けて一人一人が努力を重ねて、ベスト記録更新をするよう頑張ってもらいたいと思います。そうすれば、おのずと結果にあらわれてくるでしょう。気合だ！パラリンピックに出場した杉田好士郎選手に続いてほしい。

(杉田好士郎選手：木村先生が高洲一中に勤務していたころ水泳指導に当たり、木村先生の一言で水泳を続けた選手。)

サッカー部

千葉市新人サッカー大会 朝日ヶ丘中学校
予選リーグ Iブロック (9月24日、10月9日)
1位通過 打瀬中 3-2 大椎中
打瀬中 0-0 蘇我中
打瀬中 6-0 椿森中

決勝トーナメント

1回戦 打瀬中 0-0 加曾利中 引き分け
(PK 負け 0-3)

2年生が8人、1年生が11人の小規模チームですが、熱心に練習を積み重ね、質の高い好ゲームが展開できるようになりました。課題としては相手が強くなると慌ててしまい自分たちのフォーメーションを崩してしまうところがあります。今後強いチームと練習試合を重ね、どんな時でも自分たちのサッカー

ができるチームに成長してほしいと願っています。【顧問：辰野 談】

ソフトテニス部

10月9日(月)女子 10月14日(土)男子
'00かわてつまつり千葉市少年少女ソフトテニス大会
川崎製鉄運動場

男子予選リーグ 打瀬 3-0 貝塚
" 3-0 こてはし台
" 3-0 高洲二

決勝トーナメント

準決勝 打瀬 3-0 磯辺一
決勝 " 2-0 緑が丘

男子・・・優勝

女子

2回戦 打瀬 3-0 大宮
3回戦 " 2-0 川戸
4回戦 " 2-0 磯部二
準決勝 " 2-1 松ヶ丘
決勝 " 1-2 誉田

女子・・・準優勝

今までで最高の力を発揮することができました。今後の大きな自信となったことでしょう【顧問：三橋 談】

10月1日(日)

千葉市民区対抗ソフトテニス大会 東京電力千葉運動場
美浜区(男子)

打瀬中： 小川、木下組 4-0 稲毛区
" " 4-2 中央区
三松、藤本組 4-0 花見川区
" " 4-0 若葉区
" " 4-3 緑区

男子・・・全勝

女子

打瀬中： 因幡、正橋組 4-9 緑区
" " 1-4 中央区
" " 4-3 花見川区
" " 4-2 若葉区
" " 1-4 緑区

女子・・・3勝2敗

男女とも区の中学生の代表として善戦しました。また、大人の人たちのチームと組んでの大会なので、いろいろとアドバイスをしてもらえたことが収穫でした。【顧問：三橋 談】